

令和2年
8月1日号
広報
No.650

あきる野

今号の主な記事

- ・特別定額給付金は8月31日までに申請してください…2面
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金を支給します…2面
- ・市営住宅入居者募集…3面
- ・各種検診を実施します…4面

命を守るための備え

- 台風・豪雨に備え避難行動や経路などを事前に確認しましょう。
 - 防災行政無線が聞き取れない場合に備え、「あきる野市メール配信サービス」を登録されていない方は、登録しましょう。
- 台風や大雨などの大きな災害に備え、「自らの命は自らが守る」という意識をもって、「自宅の災害リスク」と「取るべき行動」を平常時から「ハザードマップ」や「避難行動判定フロー」(2面)で確認しましょう。

令和元年台風19号
提供:情報通信研究機構(NICT)

ハザードマップの見方

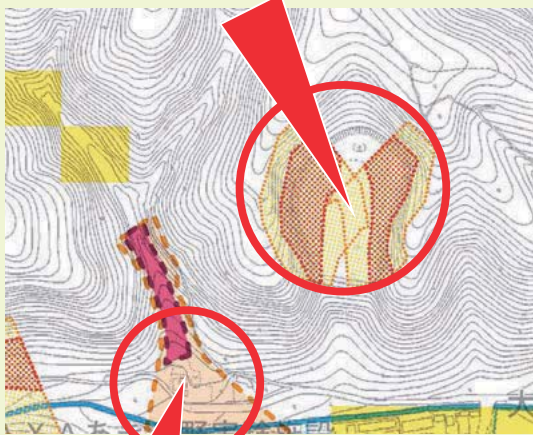


※詳しくは、右のコードからご確認ください。

●急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

オレンジ色の範囲は、土砂災害特別警戒区域で、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)により、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域です。

薄い黄色の範囲は、土砂災害警戒区域で、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)により、土砂災害の恐れがある区域です。



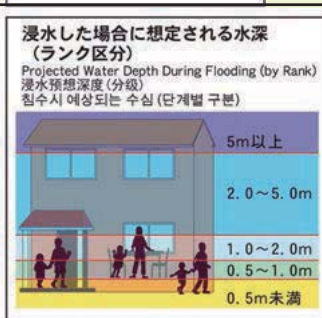
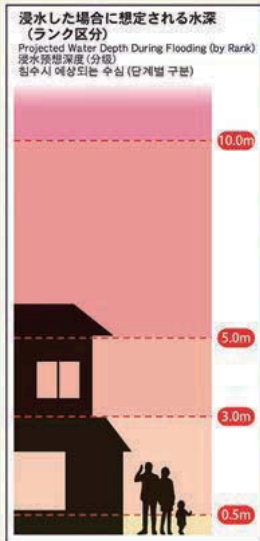
●土石流

赤色の部分は土砂災害特別警戒区域で、土石流により、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域です。

オレンジ色で囲まれた内側の範囲は、土砂災害警戒区域で、土石流により、土砂災害の恐れがある区域です。

●浸水想定区域【国管理河川(多摩川)】

このメッシュは、浸水した場合に想定される水深を表しています。浸水想定は右の図のとおり、色分けされています。



●浸水想定区域【都管理河川(秋川・平井川)】

このメッシュは、浸水した場合に想定される水深を表しています。浸水想定は右の図のとおり、色分けされています。



令和元年
台風第19号による
崩落現場

避難所における新型コロナウイルス感染症対策

避難所では、感染症対策として体温チェック、避難所内の換気、スペースの確保など衛生環境の確保を行います。2面の避難行動判定フローの結果などを参考に、避難所内が『密』になることを防ぐため、可能な場合は親戚や友人の家など安全な場所への避難も検討してください。避難する際には、感染予防対策としてマスクを着用し、可能であれば消毒液、体温計、スリッパ、避難生活に必要な水や食料、着替え、日用品などをお持ちください。家庭内備蓄については、市ホームページなどで確認してください。

問合せ 地域防災課防災係



あきる野市における 新型コロナウイルス感染症の感染状況 (令和2年7月27日現在)
7月10日・11日・23日に各1人の方の感染が確認され、累計14人となりました。
身体的距離の確保・マスクの着用・手洗いの徹底をお願いします。

最新情報など



広報あきる野は、毎月1日と15日に新聞折込と個別配布でお届けしています。市内に住所があり、折込対象の新聞を購読していない方は、市に個別配布をお申込みいただければ、無料でお届けします。また、市のホームページでもご覧になれます。詳しくは市長公室にお問い合わせください。

再生紙を使用しています